

教育について

デザイン学学位プログラムカリキュラム委員長

山本早里

理念から形へ

CP(カリキュラムポリシー)と開講科目

DPDの博士前期課程（M）、博士後期課程（D）それぞれのCPとDPDで開講している科目を示します。

修了するために必修、選択必修、選択科目、また、科目区分（基礎科目、専門科目）で定められた単位を履修する必要があります。

博士前期課程は合計**30**単位、博士後期課程は合計**6**単位

修了するためには、学位プログラムで開講している科目だけでなく、Mでは全学や大学院の共通科目を取る必要がありますし、また、幅広い学習のためにMでもDでもこれを推奨しています。

ただし、DPでお話があったように、定められた科目を取るだけでは修了にはなりませんので気を付けてください。

DPD(M)のCPカリキュラムポリシー



デザイン学学位プログラムは、製品や企画、エンタテインメント、建築、空間計画など、産業や社会にかかわる多様な課題をシステムとして捉えて研究・設計を遂行するために、専門的課題抽出力（目利き力）、専門分野と総合的方法論を合わせ広い視点から問題を計画立案する能力、任務完結力、論理的説得力、国際的なコミュニケーション能力と提案力を育てる。具体的には、デザイン、システム情報工学、環境工学、感性科学、視覚心理学、生理学、人間工学、障害科学など、関連する分野の教員による分野横断的で実践的な学修課程を編成する。

DPD(M)の教育課程の編成方針



- **基礎科目**により、デザインの基礎理論から応用・実践にわたる知識や論理的思考力を身に付ける。
- **大学院共通科目、学術院共通専門基盤科目**により、学際的な知識と幅広い知識を身に付ける。
- **分野横断的な専門科目**により、幅広いデザインの理論とその応用を支える研究開発方法を身に付ける。
- **プロジェクト演習**により、デザインの実施に対応する課題抽出力、計画立案力、プレゼンテーション力を身に付ける。
- **インターンシップ等**により、実践的な課題抽出力、計画立案力、説得力を身に付ける。
- **海外研修等**により、デザイン、設計、企画を成功させるための国際交渉力とネットワーク構築力を身に付ける。
- **デザイン学特別演習**により、総合的な計画立案力、任務完結力を身に付ける。

開講科目一覽



人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程
デザイン学学位プログラム(M)

基礎科目 必修 4
 選択 0 以上

専門科目 必修 6
 選択 9 以上

合計 30単位以上

科目区分	科目群等	条件又は科目名等	修得単位数
基礎科目		必修	4
	デザイン学関連科目	デザイン学基礎論	2
	学術院共通専門基礎科目	人間総合科学基礎論	1
	大学院共通科目 生命・環境・研究倫理科目群	研究倫理	1
		選択	0~
	大学院共通科目 情報伝達力・コミュニケーション力養成科目	サイエンスコミュニケーション概論	1
	学術院共通専門基礎科目 知的基盤形成科目群	自然災害にどう向き合いか	1
		音響メディア情報	1
		大学を開くデザインプロデュース A	1
		大学を開くデザインプロデュース B	1
	大学を開くデザインプロデュース C	1	
専門科目		必修	6
	デザイン学関連科目	デザイン学特別演習1	3
		デザイン学特別演習2	3
		選択	9~
	デザイン学関連科目	感性脳科学特講	2
		視覚情報デザイン論特講	2
		色彩デザイン論特講	2
		感性情報学特講	2
		デザイン思考	2
		デザインイノベーション特講	2
		建築計画論特講	2
		建築意匠論特講	2
		建築構法論特講	2
		建築・都市フィールドデザイン論特講	2
		プレイスメイキング論	2
		人間工学と生体計測特講	1
		エンタテインメントデザイン特講	1
		デザインとケア特講	1
		形態学とデザイン	1
		プロジェクト演習A-I	3
		プロジェクト演習A-II	3
		プロジェクト演習B-I	3
		プロジェクト演習B-II	3
		プロジェクト演習C-I	3
		プロジェクト演習C-II	3
		プロジェクト演習D-I	3
		プロジェクト演習D-II	3
		インターンシップ	1
		アドバンスインターンシップ(長期)	4
		建築デザインインターンシップ1	4
		建築デザインインターンシップ2	4
		建築デザインインターンシップ3	4
		建築デザインインターンシップ4	4
		海外研修1	1
		海外研修2	1
		海外研修3	1
		海外研修4	1
修了単位数			30

小さくて読みづらいので、次に部分的に大きくして示します

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程
デザイン学学位プログラム(M)

科目区分	科目群等	条件又は科目名等	修得単位数
基礎科目		必修	4
	デザイン学関連科目	デザイン学基礎論	2
	学術院共通専門基盤科目	人間総合科学基礎論	1
	大学院共通科目 生命・環境・研究倫理科目群	研究倫理	1
		選択	0～
	大学院共通科目 情報伝達力・コミュニケーション力養成科目	サイエンスコミュニケーション概論	1
	知的基盤形成科目群	自然災害にどう向き合うか	1
	学術院共通専門基盤科目	音響メディア情報	1
		大学を開くデザインプロデュース A	1
	大学を開くデザインプロデュース B	1	
	大学を開くデザインプロデュース C	1	

このほかにも、所定の手続きを経て、他学位プログラムの単位を10単位を上限に修了要件30単位の中に入れることができます

専門科目	必修	6
	デザイン学関連科目	3
	デザイン学特別演習1	3
	デザイン学特別演習2	3
	選択	9～
デザイン学関連科目	感性脳科学特講	2
	視覚情報デザイン論特講	2
	色彩デザイン論特講	2
	感性情報学特講	2
	デザイン思考	2
	デザインイノベーション特講	2
	建築計画論特講	2
	建築意匠論特講	2
	建築構法論特講	2
	建築・都市フィールドデザイン論特講	2
	プレイスメイキング論	2
	人間工学と生体計測特講	1
	エンタテインメントデザイン特講	1
	デザインとケア特講	1
	形態学とデザイン	1
	プロジェクト演習A-I	3
	プロジェクト演習A-II	3
	プロジェクト演習B-I	3
	プロジェクト演習B-II	3
	プロジェクト演習C-I	3
	プロジェクト演習C-II	3
	プロジェクト演習D-I	3
	プロジェクト演習D-II	3
	インターンシップ	1
	アドバンスインターンシップ(長期)	4
	建築デザインインターンシップ1	4
	建築デザインインターンシップ2	4
	建築デザインインターンシップ3	4
	建築デザインインターンシップ4	4
	海外研修1	1
	海外研修2	1
	海外研修3	1
	海外研修4	1
修了単位数		30

M

専門科目	必修	6
デザイン学関連科目	デザイン学特別演習1	3
	デザイン学特別演習2	3
	選択	9~
デザイン学関連科目	感性脳科学特講	2
	視覚情報デザイン論特講	2
	色彩デザイン論特講	2
	感性情報学特講	2
	デザイン思考	2
	デザインイノベーション特講	2
	建築計画論特講	2
	建築意匠論特講	2
	建築構法論特講	2
	建築・都市フィールドデザイン論特講	2
	プレイスメイキング論	2
	人間工学と生体計測特講	1
	エンタテインメントデザイン特講	1
	デザインとケア特講	1
	形態学とデザイン	1
	プロジェクト演習A-I	3
	プロジェクト演習A-II	3
	プロジェクト演習B-I	3
	プロジェクト演習B-II	3
	プロジェクト演習C-I	3
	プロジェクト演習C-II	3
	プロジェクト演習D-I	3
	プロジェクト演習D-II	3
	インターンシップ	1
	アドバンスインターンシップ(長期)	4
	建築デザインインターンシップ1	4
	建築デザインインターンシップ2	4
建築デザインインターンシップ3	4	
建築デザインインターンシップ4	4	
海外研修1	1	
海外研修2	1	
海外研修3	1	
海外研修4	1	
修了単位数		30

専門講義科目
15科目 隔年開講

プロジェクト演習については後ほど詳細を説明します

企業などでのインターンシップを単位化

海外での研修（学会発表や研究調査など）も単位化

履修モデル

科目区分	1年次		2年次		単 位 数	修 得	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期			
大学院共通科目	研究倫理	1		サイエンスコミュニケーション概論	1		2
学術院共通専門基盤科目	大学を開くデザインプロデュースA	1					1
研究群共通科目	人間総合科学基礎論	1					1
基礎科目	デザイン学基礎論	2					2
専門科目	専門科目特講 プロジェクト演習A-I	4 3	専門科目特講 プロジェクト演習B-I デザイン学特別演習1	4 3 3	専門科目特講 デザイン学特別演習2 海外研修	3 3 1	24
修得単位数	12	10	8	8			30
授業科目以外の学修	研究計画届	第1段階達成度審査	第2段階達成度審査	修士論文最終公开发表会 最終達成度審査			

専門講義科目は毎学期、
1科目1~2単位の専門
科目を数科目履修して
いくイメージです

※数字は単位数を表す。

このほかにも、所定の手続きを経て、他学位プログラムの単位を10単位を上限に修了要件30単位の中に入れることができます

DPD(D)のカリキュラムポリシー



デザイン学学位プログラムは、製品や企画、エンタテインメント、建築、空間計画などの産業や社会にかかわる多様なデザインの研究を遂行するために、高次の専門的課題抽出力（目利き力）、専門的かつ総合的方法論を合わせ広い視点から研究を計画立案する能力、研究実施力、研究完結力、論理的説得力、国際コミュニケーション能力と提案力を育てる。具体的には、デザイン、システム情報工学、環境工学、感性科学、視覚心理学、生理学・人間工学、障害科学など、関連する分野の教員による分野横断的で実践的な学修課程を編成する。

DPD(D)の教育課程の編成方針

- 専門科目 **デザイン学特別研究**により、総合的な研究計画立案力、研究実施力、研究完結力を身に付ける。
- **大学院共通科目、学術院共通専門基盤科目**による、学際的な知識と幅広いデザイン知識の修得を奨励する。
- **デザイン学特別研究、インターンシップ**により、実践的な課題抽出力、計画立案力、説得力を身に付ける。
- **デザイン学特別研究、海外研修**により、デザイン、設計、企画を成功させるための国際交渉力とネットワーク構築力を身に付ける。

科目一覧



人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士後期課程
デザイン学学位プログラム(D)

科目区分	科目群等	条件又は科目名等	修得単位数	
基礎科目		選択	0～	
	大学院共通科目	生命・環境・研究倫理科目群	応用倫理	1
		情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	サイエンスコミュニケーション特論	1
		国際性養成科目群	国際インターンシップ	1
専門科目		必修	4	
	デザイン学関連科目	デザイン学特別研究B	2	
		デザイン学特別研究D	2	
		選択	2～	
	デザイン学関連科目	デザイン学特別研究A	2	
		デザイン学特別研究C	2	
		インターンシップ	2	
		海外研修1	2	
		海外研修2	2	
		海外研修3	2	
海外研修4		2		
海外研修5		2		
海外研修6	2			
修了単位数			6	

カリキュラム・マップ

科目のコンピテンスを表にしたもの

このコンピテンスはどの科目を取れば身につくのか、
逆にこの科目をとるとどんなコンピテンスが身につくのか、
というのを一覧できます。

(人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士前期課程)				汎用コンピテンス					専門コンピテンス						
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		1	2	3	4	5	1	2	3
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実験・実習	知の 活用 力	マネー ジ メント 能 力	コミュ ニ ケー ション 能 力	チー ム ワー ーク 力	国際 性	構 想・表 現 力	分析 力
■デザイン学学位プログラム (M)															
基礎 科目	デザイン学基礎論	1前	2			○		○					○		
	人間総合科学基礎論**	1・2前	1										○	○	○
	研究倫理*	1・2前	1			○							○		○
	サイエンスコミュニケーション概論*	1・2前	1				○						○		○
	自然災害にどう向き合うか*	1・2前	1			○			○				○		
	こころの神経科学**	1・2通	1			○		○					○	○	
	音響メディア情報**	1後	1			○							○		○
	大学を開くデザインプロデュース A**	1・2前	1						○		○		○		○
	大学を開くデザインプロデュース B**	1・2前	1						○		○		○		○
	大学を開くデザインプロデュース C**	1・2後	1						○		○		○		○
小計 (10科目)	—	4	7	0		—									
専 門 科 目	感性脳科学特講	1・2前	2			○		○							
	視覚情報デザイン論特講	1・2後	2			○							○	○	
	色彩デザイン論特講	1・2前	2			○							○	○	
	感性情報学特講	1・2後	2			○					○		○	○	
	デザイン思考	1・2前	2			○							○	○	
	デザインイノベーション特講	1・2後	2			○							○	○	
	建築計画論特講	1・2前	2			○							○	○	
	建築意匠論特講	1・2後	2			○							○	○	
	建築構法論特講	1・2前	2			○							○	○	
	建築・都市フィールドデザイン論特講	1・2後	2			○					○		○	○	
	プレイスメイキング論	1・2前	2			○							○	○	
	人間工学と生体計測特講	1・2後	1			○							○	○	
	エンタテインメントデザイン特講	1・2前	1			○							○	○	
	デザインとケア特講	1・2後	1			○							○	○	
	形態学とデザイン	1・2前	1			○							○	○	
	プロジェクト演習A-I	1前	3				○			○		○	○		○
	プロジェクト演習A-II	1前	3				○			○		○	○		○
	プロジェクト演習B-I	1後	3				○			○		○	○		○
	プロジェクト演習B-II	1後	3				○			○		○	○		○
	プロジェクト演習C-I	2前	3				○			○		○	○		○
	プロジェクト演習C-II	2前	3				○			○		○	○		○
	プロジェクト演習D-I	2後	3				○			○		○	○		○
	プロジェクト演習D-II	2後	3				○			○		○	○		○
	インターンシップ	1・2通	1				○			○		○	○		○
	アドバンスインターンシップ (長期)	1・2通	4				○			○		○	○		○
	建築デザインインターンシップ1	1・2前	4				○			○		○	○		○
	建築デザインインターンシップ2	1・2後	4				○			○		○	○		○
	建築デザインインターンシップ3	1・2前	4				○			○		○	○		○
	建築デザインインターンシップ4	1・2後	4				○			○		○	○		○
	海外研修1	1前	1				○					○	○		○
	海外研修2	1後	1				○					○	○		○
	海外研修3	2前	1				○					○	○		○
	海外研修4	2後	1				○					○	○		○
	デザイン学特別演習1	1後	3				○						○	○	○
	デザイン学特別演習2	2前	3				○						○	○	○
小計 (35科目)	—	6	75	0		—									
学位プログラム小計 (45科目)	—	10	82	0		—									

※「必修」は学位プログラムとしての必修を表す。

※ *を付した科目は大学院共通科目

※ **を付した科目は学術院共通専門基盤科目



(人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 博士後期課程)									汎用コンピテンス					専門コンピテンス		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			1	2	3	4	5	1	2	3
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	知の創成力	マネジメント能力	コミュニケーション能力	リーダーシップ力	国際性	構想・思考力	分析力	解決力
■デザイン学学位プログラム (D)																
基礎科目	応用倫理*	1・2・3後		1		○			○	○	○	○	○			○
	サイエンスコミュニケーション特論*	1・2後		1		○			○				○			
	国際インターンシップ*	1・2通		1		○			○	○		○				○
	小計 (3科目)	—	0	3	0			—								
専門科目	デザイン学特別研究A	1前		2				○					○	○	○	○
	デザイン学特別研究B	1後	2					○	○		○		○	○	○	○
	デザイン学特別研究C	2前		2				○	○				○	○	○	○
	デザイン学特別研究D	2後	2					○	○			○	○	○	○	○
	インターンシップ	1・2通		2						○						○
	海外研修1	1前		2									○			○
	海外研修2	1後		2									○			○
	海外研修3	2前		2									○			○
	海外研修4	2後		2									○			○
	海外研修5	3前		2									○			○
	海外研修6	3後		2									○			○
小計 (11科目)	—	4	18	0			—									
学位プログラム小計 (14科目)		—	4	21	0			—								

※「必修」は学位プログラムとしての必修を表す。

※ *を付した科目は大学院共通科目

※長期履修制度

長期履修制度とは、職業を有している，育児・介護等を行う必要がある，障害者である等の事情により，標準的な修業年限では卒業又は修了が困難な者に限り，所定の在学年限の範囲内で修業年限を延長し教育課程を履修することを認める制度です。

例えば，博士後期課程における標準的な修業年限は通常3年ですが，5年を修業年限として設定することができます。

入学時から5年の長期履修を認められた場合，納入する授業料総額は3年分がよく，3年分の授業料を5年で除した額を毎年納入することになります。

次に、デザイン学学位プログラムの博士前期課程（M）の科目のうち、特色のある科目『プロジェクト演習』の紹介をしていただきます。

その次に、『一級建築士』受験資格の説明もさせていただきます。